



三月十七・二十五日 お彼岸と先祖供養

先祖供養の儀式は、故人の冥福を祈ることと、子孫を守っていくことに對する感謝の心にまとめられます。日本人は先祖の霊に守られてはじめて幸せな生活が出来ると思われて来ました。先祖なくして、現在の自分は存在しうるはずはないのです。この厳肅な事実を気づくならば、先祖に対する感謝の気持ちは、ごく自然にわき、敬う気持ちが生まれて当然です。

「おかげさま」と言う言葉があります。相手の親切に對する感謝の意味として「おかげさま」という言葉によって表される感謝の心を、日本人は古来より持ち続けてきました。人は、自分に対してなされた様々な善意に對して感謝の心を抱きます。その中でも、自分と言う人間が、この世に生まれたおおもとである父母、祖父母に對する感謝の念は最も大きいものです。「ご先祖様」こそ、最高の「おかげさま」なのです。

先祖供養の心をお釈迦様は、「父母を救済するは大功徳あり、われ父母をたすくるにより、世々に難なく、自ら成仏を致せり、この義をもつてのゆえにもろもろの比丘等よ、各孝順にして父母に供養すべし。」と。(雜寶藏經卷一) 説かれています。お彼岸にはお墓を清掃し、お花を供えお参りをしましょう。生花は管理事務所に用意してありますのでご利用下さい。



水谷山 寶清寺

新規墓地完成

昨年未だ新規墓地が完成しました。当山七面堂裏の南斜面が大雨で崩れました。その斜面土留めの為の擁壁工事により、墓地を作るスペースが出来ました。そこで、擁壁工事と墓地の造成工事を同時に行いました。その結果、擁壁と一体となった墓地、一、二mが中心の七区七十区画が完成しました。又、二区と六区の間空き地が荒れたままになりましたので、同時に墓地の造成工事を行いました。その結果、二区

宋健喜の方へ

私たちは四十六号の記事を読まれて建墓を申し込まれた方がありました。長年に渡り未建墓の方には三月頃から、当山の管理上、又、突然のご不幸でお困りにならない為にも、計画的な建墓を含めて、建墓のお願いのお電話を掛けさせて戴きたいと考えていますので、よろしくお願ひ申し上げます。

お釈迦様の健康法

「胡麻」 日本仏教と精進料理 胡麻はインドを原産地として中国を経て日本に伝えられました。仏典では「こま」とも呼んでいます。胡麻は日本料理、とりわけ仏教の精進料理には欠かせないものです。日本人は胡麻を使った料理が大好きなようです。胡麻和え、胡麻豆腐、胡麻味噌など多々あります。私達が習慣的に食べている胡麻料理のほとんどは、寺院の精進料理からきています。 胡麻は料理だけでなく、仏教医学で万病薬食品とされてきました。お釈迦様も、病僧の治療に胡麻をさかんに用いていたそうです。このように胡麻は、健康にも良い、仏教にゆかりの深い植物なのです。(当山では、法事の後の会食のお世話を、「驚啼庵」と「杏花ケイタリクサード」の二社に依頼していましたが、昨年の末から、「精進料理」もメニューにある「深山」にもお願いするように致しました。法事の後の会食を当山の「たちばな会館」や「水谷庵」で希望される場合は管理事務所パンフレットをご請求下さい。)

「お釈迦様の教え」5

「真実の目をひらく」

お釈迦様の教えに「汝等比丘、若し智慧(物事の価値をよくわきまえ明らかにすの作用)あれば、則ち貧(物事に深く執着すること)なし。常に自ら省察(反省)してみても善悪を知る(こと)にして失(失敗)することのないようにしなさい)。(正覺)「汝等比丘、若し種々の戲論(たわむれの議論)は、心の(不)亂(心が乱れる)復た出家すと雖も(出家した人であっても)、なお未だ得(だ)脱(だ)せず(生死を超越して悟りに向かうことができない)是(こ)の故(ゆ)に比丘當に(不)亂(心が乱れる)戲論(心を乱すたわむれの議論)を捨離(捨て去る)すべし)。(不戲論覺)とあります。「真実の道理」の「真実」とは一般に「うそいっわりないこと、ほんとうのことを」いいます。とすれば、人間が行うあらゆる行為が「真実」といえます。泥棒をするのも、殺生に走るのも、一つの行為であり、布施の心で人々と共に住み良い社会の創造に尽くそうというのも「真実」です、この世のすべてのものは、表と裏と言う両面が常に一体なのです。しかし、これは人間社会に於ける小さな一面であって、世間生滅の法(道理)は、私達の力ではどうすることも出来ません。宇宙の仕組みは今後、いかに科学が発達しようとも、それを解くことが出来ないとされています。そうした無限に広がる宇宙の実態に気がつくことが、最も大きな「智慧」と言えるのです。これを仏教では「真如」といい、「法性」と言います。また、それを「智慧」の象徴としていいます。今日言われる「知恵」は、人間の計らいであり、如来の「智慧」は、宇宙を見つめる眼でもあります。お釈迦様は表面的なざれごとや、妄言にまどわされることなく、己自身の心の静まりを深めて行くことの大切さを説いているのです。

宝清寺たちばな会館

水谷庵の宣伝

墓地を求めた方や葬儀で平間にいらした方から、「こんな立派な会館があったのか」と驚き、「もう少し宣伝したら」と声を掛けて下さる方が多くあります。当山が更に発展する為にも、お檀家の皆様や橘墓苑を使用されている方々から、宝清寺には、誰でも使用できる「たちばな会館」や家族葬に適した「水谷庵」があることを知らない方に、ご宣伝下さるようお願い致します。